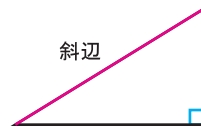


三角形 (2)

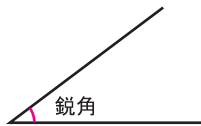
直角三角形

定義：1つの内角が直角の三角形を**直角三角形**という。
 直角三角形の、直角に向かい合う辺を**斜辺**という。



鋭角と鈍角

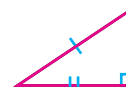
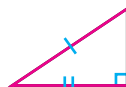
90°より小さい角を**鋭角**，
 90°より大きく、180°より小さい角を**鈍角**という。



直角三角形の合同条件



① 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。



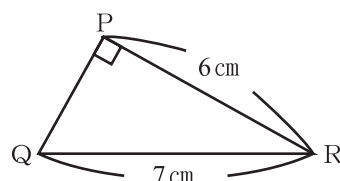
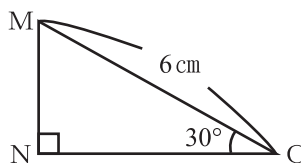
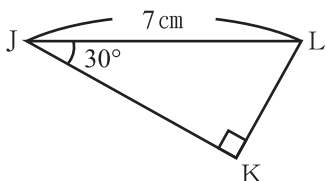
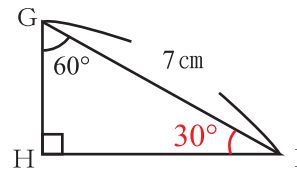
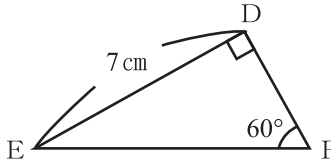
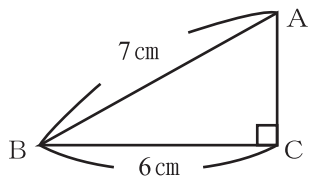
② 斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい。

逆

「●●ならば▲▲」という定理の、仮定と結論をいれかえた
 「▲▲ならば●●」を、その定理の**逆**という。
 正しいことがらの逆が、いつも正しいとは限らない。
 逆が正しくないことを示すには、**反例**を1つあげればよい。

はんれい
反例…あることがらが
 成り立たないことを
 示す例

【1】下の図で、合同な直角三角形を見つけ、記号 \equiv を使って表しなさい。
 また、そのときに使った直角三角形の合同条件を答えなさい。



答え

• $\triangle ABC \equiv \triangle QRP$

条件 斜辺と他の一辺がそれぞれ等しい。

• $\triangle GHI \equiv \triangle LKJ$

条件 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。

【2】次のことがらの逆を答えなさい。また、それが正しい場合は()に○を、正しくない場合は×をかき、反例を1つあげなさい。

(1) a と b のどちらも奇数ならば ab は奇数である。

逆 ab が奇数ならば a と b のどちらも奇数である。 (○) 反例

(2) a が偶数、 b が奇数ならば ab は偶数である。

逆 ab が偶数ならば a は偶数、 b は奇数である。 (×) 反例 $ab = 8, a = 2, b = 4$ など